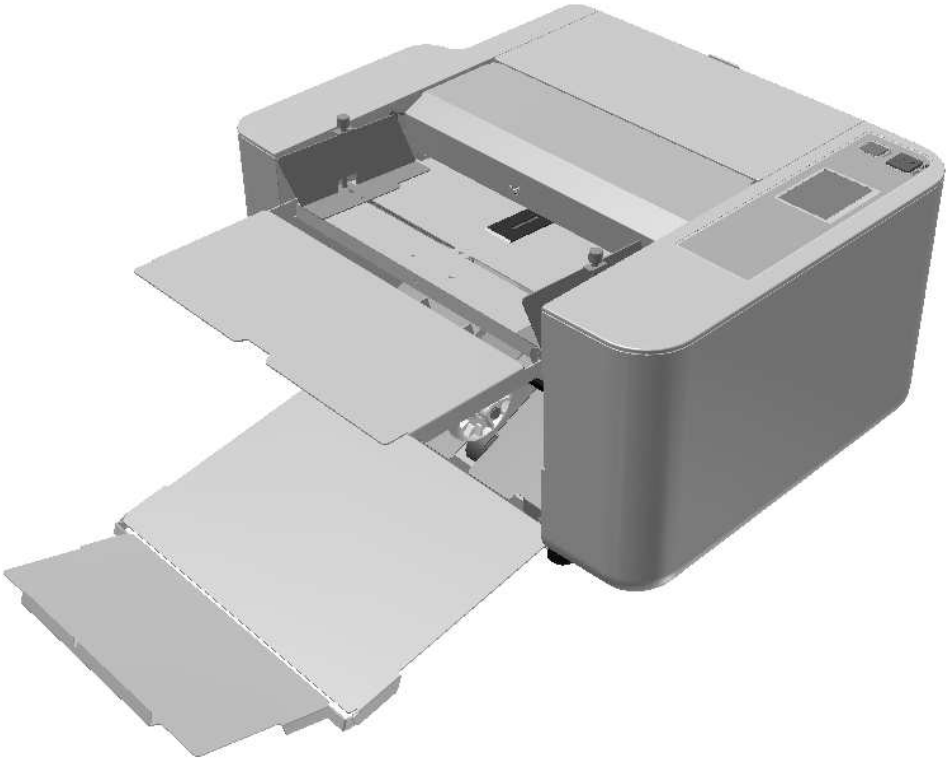
取扱説明書

紙折機　LF-A600



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて大切に
保管してください。

● ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
● [安全上の注意]に使用されている絵表示の例。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。（左図の場合は高温注意）

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。（左図の場合は分解禁止）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）

安全上の注意

⚠ 警 告	
	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
	交流100V周波数50／60Hzで使用してください。電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、火災・故障の恐れがあります。周波数が範囲外の場合、火災・故障の恐れがあります。
	この機器の上に、物をのせないでください。機器内部に水・異物が入った場合火災・漏電の恐れがあります。
	電源コードの扱いには十分注意してください。 傷・破損・加工をしないでください。火災・感電の恐れがあります。 重量物をのせないでください。火災・感電の恐れがあります。 プラグやコードを無理に曲げないでください。火災・感電の恐れがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	この機器のカバーは外さないでください。感電やケガの恐れがあります。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。
	発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源スイッチを切り、販売店までご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。
	電源コードが熱を持ったり、異臭がするなど異常があったらすぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	異物が機器に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
	雷が近づいてきたら、落雷による火災・故障を防ぐためコンセントを抜いてください。

注 意

	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部にたらさないでください。けがの原因になります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて大切に保管してください。
この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。
本書では、一部の部品を省略している挿絵があります。

目 次

1. 設置前の注意事項

1.1 設置場所の確認 8
1.2 搬入時の注意 8
1.3 付属品の種類・数量の確認 9

2. 製品各部の名称

2.1 外観 10
2.2 操作パネルシート部 11

3. 特に注意していただきたいこと

3.1 用語の定義
3.1.1 マーク解説 11
3.1.2 用語・折形解説 11
3.2 特徴および使用目的 12
3.3 使用しないとき 12
3.4 使用上の注意 12

4. 使用前の準備 13

5. 使用方法

5.1 規格用紙（A3・A4・B4・B5等）の定形折り 14
5.2 規格外用紙の定形折り
5.2.1 用紙長さを自動で読み取らせる場合 16
5.2.2 用紙長さを入力する場合 18
5.3 変形折り 20
5.4 クロス折り 22
5.5 アート紙／コート紙を折る方法
5.5.1 コート紙用セパレーターへの交換 23
5.5.2 給紙圧・セパレーター圧調整 24
5.6 調整
5.6.1 斜行調整 25
5.6.2 折り位置の微調整 26
5.6.3 排紙ローラー位置の調整 28

5.7 規格用紙の折り位置の登録／消去 （定形折り微調整位置）
5.7.1 微調整位置の登録 29
5.7.2 微調整登録の個別消去 30
5.7.3 微調整登録の全消去 31
5.8 変形折り・規格外用紙の折り位置登録／消去
5.8.1 折り位置登録 32
5.8.2 折り登録の呼び出し 33
5.8.3 折り登録の全消去 34
5.8.4 登録の全消去 35
5.9 カウンター
5.9.1 加算モード 36
5.9.2 減算モード 37
5.9.3 インターバルモード 38
5.10 速度調整 39
5.11 重送検知機能
5.11.1 重送検知機能とは 40
5.11.2 重送検知機能のON／OFF 40
5.11.3 重送検知機能の使用 41
5.11.4 重送検知エラー（E-52）で停止した場合 41

6. 保守・点検・消耗品

6.1 点検・お手入れ時の注意事項 42
6.2 日常のお手入れ 42
6.3 消耗品について 42
6.4 折りカセットの脱着方法 43
6.5 折りローラーの脱着・清掃 45
6.6 給紙・重送検知・排紙フォトセンサーの清掃 46
6.7 用紙セパレーターと給紙ゴムローラーの脱着 47
6.8 折りブレーキの清掃／交換 48
6.9 折りブレーキのロック解除 51

7. トラブル時の処置

7.1 エラー表示

7.1.1 エラー画面 52

7.1.2 エラーコード一覧 53

7.2 トラブルの内容と処置 54

7.3 故障の場合 55

8. 移設または廃棄するとき

8.1 移設

8.1.1 旧設置場所からの撤去作業 56

8.1.2 運搬 56

8.1.3 移設先での設置 56

8.2 廃棄 56

9. 製品仕様 57

1 設置前の注意事項

1-1 ： 設置場所の確認

次の条件を満たした場所に設置してください。

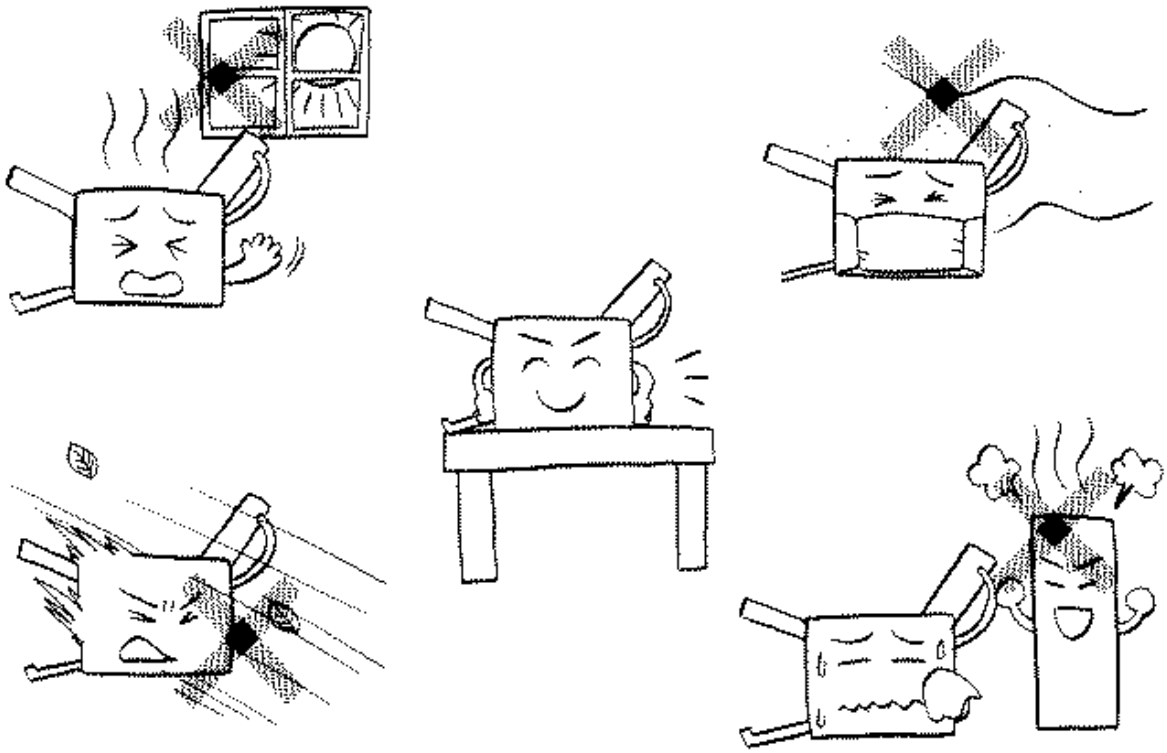
・直射日光の当たる場所に設置しないでください。

・窓際は避けてください。

・湿気やほこりの多い場所は避けてください。

・風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。

・丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。



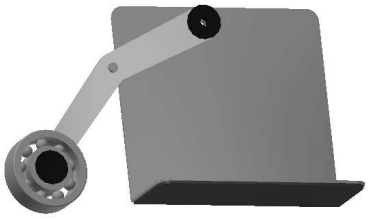
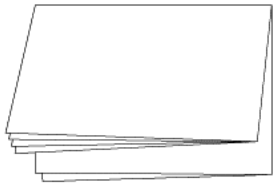
1-2 ： 搬入時の注意

・衝撃や激しい振動が製品本体に加わらないようにていねいに取り扱ってください。

・保護手袋をし、２人で底面４隅をしっかり持って運搬してください。

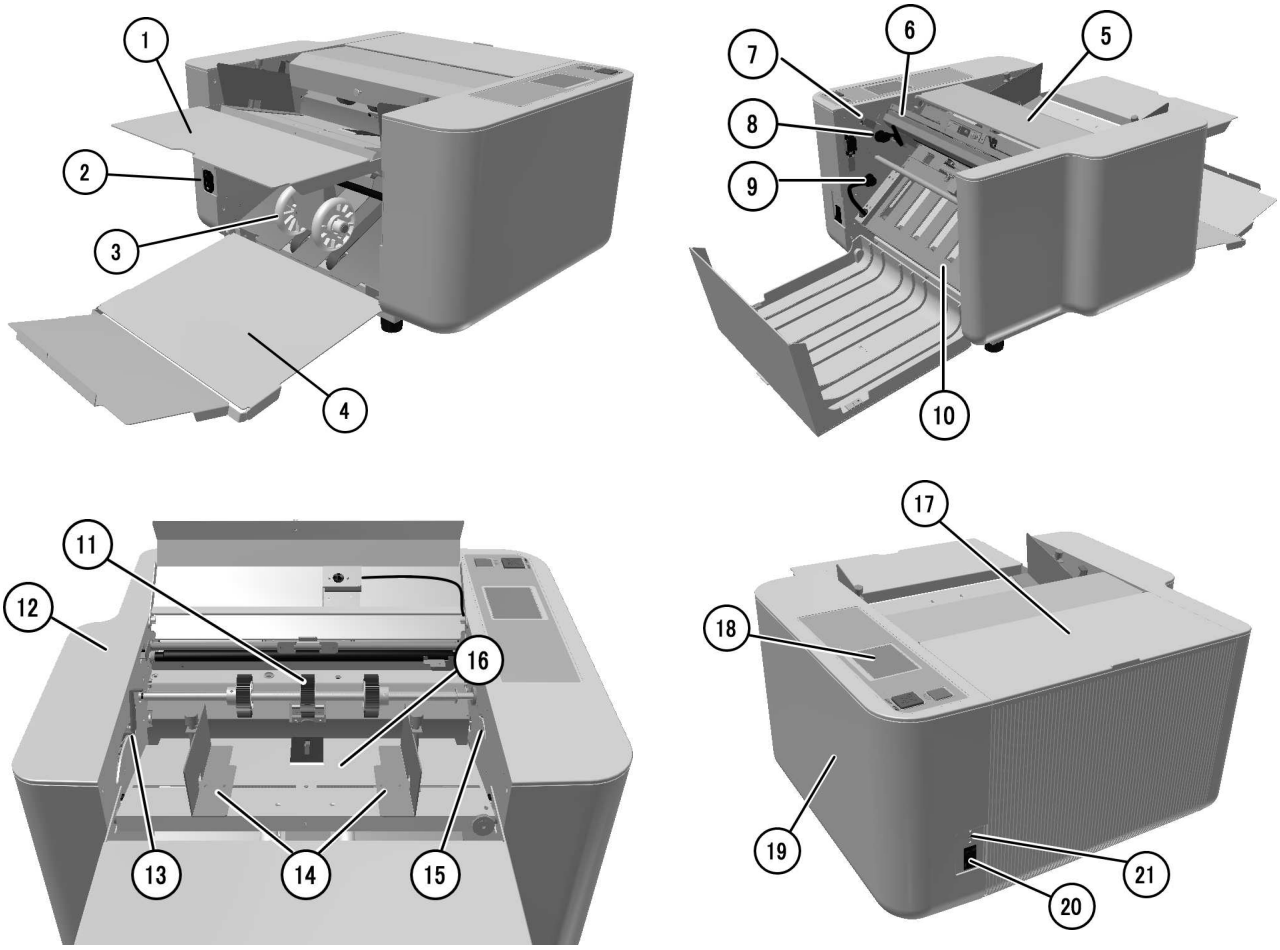
1-3 ： 付属品の種類・数量の確認

開梱したら、付属品の確認をしてください。
万一不足していたらすぐに販売店に連絡してください。
また、保証書の記入をお願いします。

付属品	数量	図
電源コード	1	
補助用紙ガイド(左右)	各1	
取扱説明書 （この小冊子です）	1	
機械カバー	1	
保証書	1	

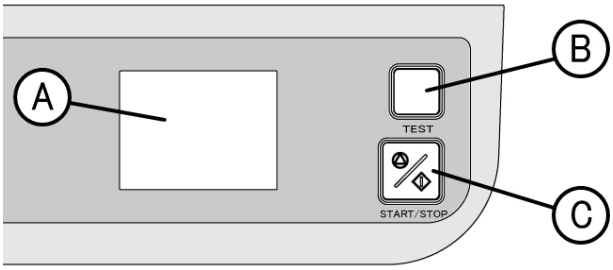
2 製品各部の名称

2-1 ： 外観



番号	名称	はたらき	番号	名称	はたらき
1	補助テーブル	大きい用紙を支える	11	給紙ローラー	用紙を1枚だけ給紙
2	電源スイッチ	電源の入り・切り	12	左化粧カバー	メカ部の保護
3	排紙ローラー	折った紙を整えて排出	13	給紙圧レバー	給紙圧を調整する
4	排紙テーブル	折った紙を蓄える	14	用紙ガイド	給紙時の曲がりを防止
5	安全カバー	開けると動作が停止	15	セパレーター圧レバー	セパレーター圧を調整する
6	折りカセット1	1回目の折を入れる	16	給紙テーブル	用紙を載せる
7	折りローラー脱着レバー	折りローラーの脱着	17	後カバー	メカ部の保護
8	折りカセット1ソケット	折りカセット1の制御ケーブルをつなぐ	18	操作パネル	枚数設定など
9	折りカセット2ソケット	折りカセット2の制御ケーブルをつなぐ	19	右化粧カバー	メカ部の保護
10	折りカセット2	2回目の折りを入れる	20	インレット	電源コードをつなぐ
			21	ブレーカー	過電流保護

2-2:操作パネル



番号	名称	はたらき
A	タッチパネル	操作を進める
B	「テスト」キー	テスト折りをする
C	「スタート/ストップ」キー	スタートとストップ

3 特に注意していただきたいこと

3-1 : 用語の定義

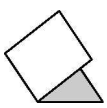
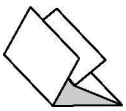
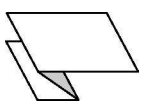
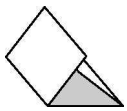
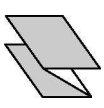
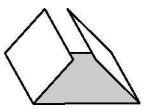
3-1-1 : マーク解説

注意！.....注意していただきたいことです

ポイント！.....知っていると便利なことです

3-1-2 : 用語・折り形解説

名 称	解 説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること
重送	2枚以上重ねて給紙すること
スリップ	用紙が滑って送り込まれないこと
さばく	用紙同士がはりついている状態をはがすこと

図						
折 形	2つ折り	4つ折り	片袖折り	内3つ折り	外3つ折り	観音折り

図の着色部は、給紙テーブル上の用紙の 上側の面を示します。

3-2 ： 特徴および使用目的

・見やすいカラーLCDタッチパネル搭載。

・用紙を高速で折ります。

・用紙サイズ検知・折り位置設定・給紙テーブル上下・排紙ローラー移動は自動です。

・折り位置変更時の待ち時間が無く、すぐに折り作業を開始できます。

・面倒な計算をしなくても用紙の長さと折形を入力すると折り位置を自動計算します。

・変形折りを 20通り記憶できます。
記憶内容は、折り位置・速度・排紙ローラー位置の３項目です。

・微調整位置36通り記憶できます。

・定形外サイズの用紙も、機械が用紙全長を自動計測します。

・インターバルモード搭載。

・重送検知機能搭載

・クロス折り可能。

3-3：使用しないとき

・電源プラグをコンセントからはずしてください。

・機械カバーを掛けてください。

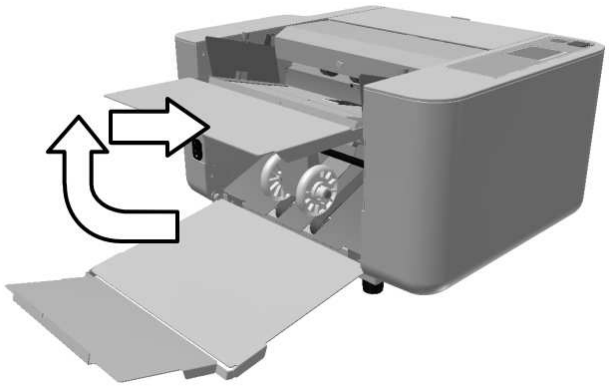
3-4：使用上の注意

・ローラーカバーの開閉は中央を持って行ってください。用紙ガイドにはさまれる恐れがあります。

・特に重要な書類は事前に折りテストをし、折り位置の確認をしてください。

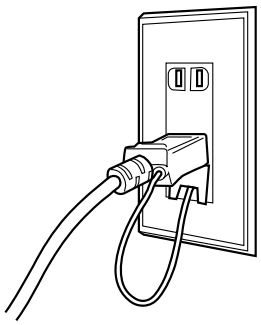
・理由を問わず、用紙の折ずれ・破損の補償はご容赦ください。

4 使用前の準備



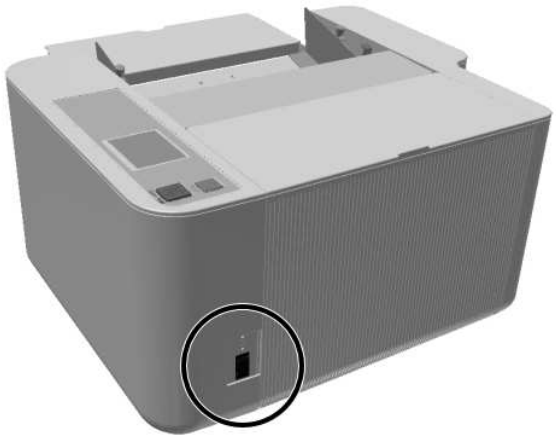
排紙テーブルを広げて、補助テーブルを持ち
上げるようにしてセットします

電源コードをコンセントに差し込みます
（プラグ形状は写真と異なる場合があります）



注意！

電源コードは 必ずほどいて使用してください。
付属の電源コード以外は使用しないでください。
電源コードのアース線は、必ず接地（アース）
してください

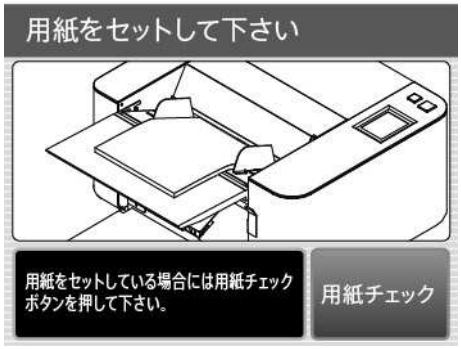


電源スイッチをオンにすると、タッチパネルが点灯
して機械が使用可能になります

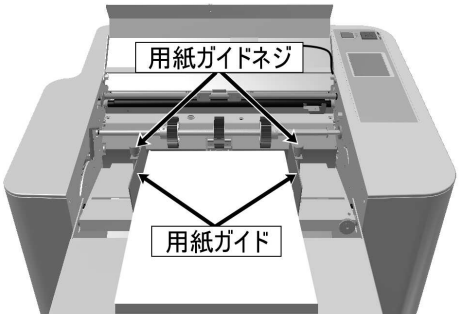
	⚠ 警 告
⊘	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください 感電の恐れがあります
	電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください 火災・感電の原因になります

5 使用方法

5-1 ： 規格用紙の定形折り



（電源オンの直後の状態から説明します）



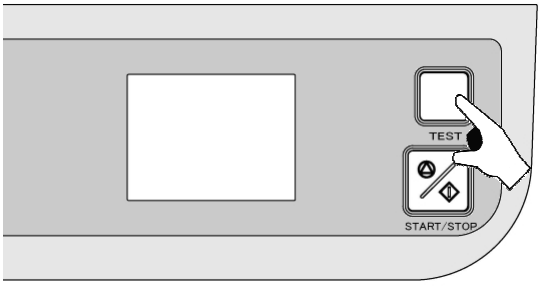
① 規格サイズの用紙をセットします
② 用紙ガイドネジを緩めて用紙ガイドを用紙の幅に合わせます
③ 用紙をきれいに揃えてから給紙テーブルにのせます
④ 用紙ガイドを用紙に密着させて、用紙ガイドネジを締めます

注意！

印刷直後の用紙はジャム・重送・スリップ・用紙のシワの原因になりますので、必ず乾いてから使用してください。

⑤ TOP画面で**「定形折り」**を選択します

⑥ 折形を指定します
6種類（2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・外3つ折り・観音折り）の折形から選択します。
希望の**「折形」**キーを押してください



⑦ 試し折りをします。

「テスト」キーを押すと、1枚折ります。

（カウンタ-の枚数表示は「0」のままです）

折り上がった用紙で 仕上がりを確認します。

ポイント！

＜折りずれが発生する原因＞

・ローラーの汚れ

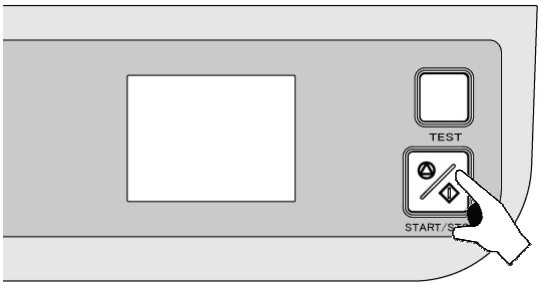
・用紙ガイドのセットが曲がって固定されている 又は用紙ガイドが用紙に密着していない

・給紙テーブルが曲がっている

・用紙の裁断が曲がっている

＜折りずれを修正する場合＞

→**「5．6 調整」**（25～28ページ）参照



⑧ 連続折りをします。

「スタート/ストップ」キーを押すと、給紙テーブルが上がり連続して用紙を折ります。

動作中に、もう一度押すと停止します。カウンタは加算していきます。

希望枚数のみ折りたい場合

→**「5．9．2減算モード」**（37ページ）参照

排紙がスムーズにいかない場合

→**「5．6．3排紙ローラーの調整」**（28ページ）参照

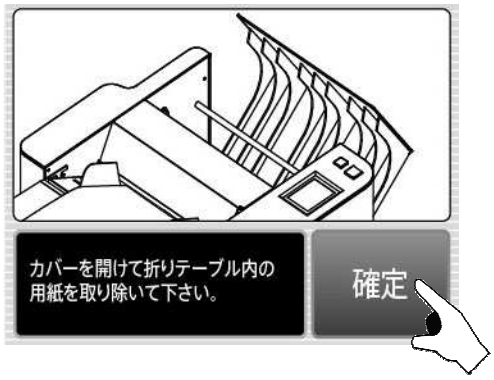
5-2 ： 規格外用紙の定形折り

5-2-1 ： 用紙長を自動で読み取らせる場合

① TOP画面の**「定形外用紙の定形折り」**キーを押します。

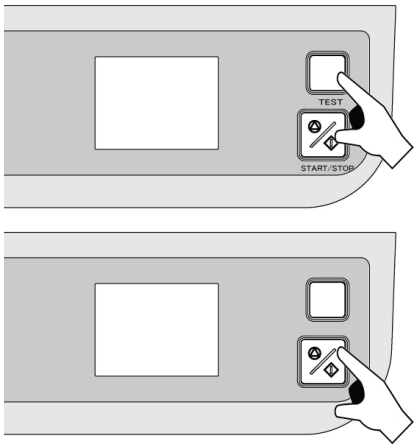
② **「用紙サイズ読み取り」**キーを押して、用紙を1枚給紙し用紙の全長を読み取ります。

> ***注意！***
>
> **読み取り可能な範囲は、用紙の全長が**
> **最少 128mm～最大 457mm までです。**



③ 給紙された用紙を後カバーを開けて取り除きます。
④ 取り除いた用紙を再度給紙テーブルにセットします。
⑤ **「確定」**キーを押します。

⑥ **「6 種類の折形」**キーの中から希望の折形を選択します。

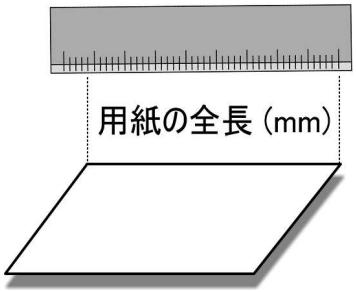


⑦ **「テスト」**キーを押して試し折りをします。

折ずれを修正する場合
→**「５．６　調整」**(25～28 ページ)参照

⑧ **「スタート／ストップ」**キーを押して連続折りを開始します。

5-2-2 ： 用紙の長さを入力する場合



① 用紙の進行方向の長さを測ります。

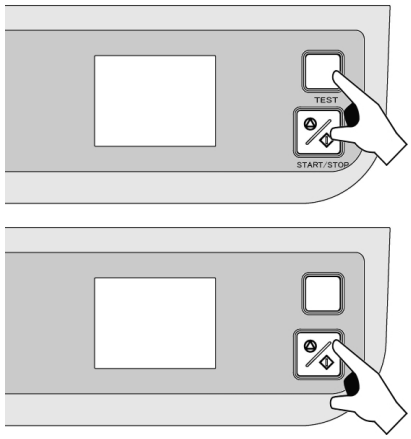
② TOP画面の**「定形外用紙の定形折り」**キーを押します。

③ **「用紙サイズ入力」**キーを押します。

④ テンキーで用紙の長さを入力し、**「確定」**キーを押します。（単位mm）

> ***注意！***
>
> **入力可能な範囲は、用紙の全長が**
> **最少128mm～最大457mmまでです。**

⑤ **「6種類の折形」**キーの中から希望の折形を選択します。



⑥ **「テスト」**キーを押して試し折りをします。

折りずれを修正する場合
→**「５．６　調整」**（25～28 ページ）参照

⑦ **「スタート／ストップ」**キーを押して連続折りを開始します。

5-3 ： 変形折り

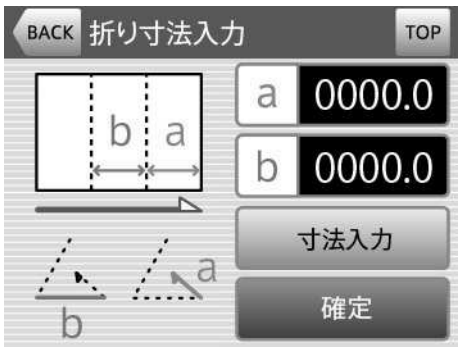
・変形折りは自動設定では折ることができず、任意の折形設定をする必要があります。

・規格用紙、規格外用紙いずれも下記手順で設定することが可能です。

> ***ポイント！***
>
> 変形折りをしたい規格用紙、または規格外用紙を準備し、手で変形折りのサンプルを作ります。

① TOP画面の**「変形折り」**キーを押します。

② 目的の折りに一番近い**「折形」**キーを選択します。



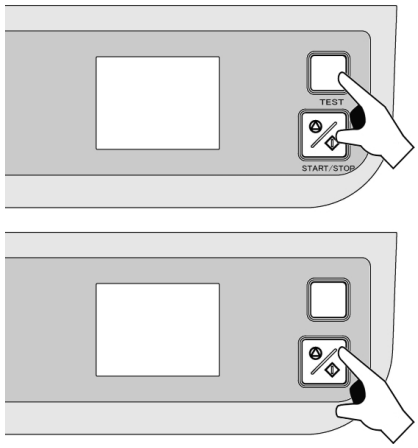
③ 事前に作成した折りサンプルで操作パネルに表示されたa、b 寸法を測り、**「寸法入力」**キーを押します。

④ aの寸法をテンキーで入力後**「確定」**ボタン
を押します。

⑤ bの寸法をテンキーで入力後**「確定」**ボタンを押します。

※2つ折りは a寸法入力画面は無く、b寸法の
入力のみとなります。

⑥ カウンター画面に自動的に移行します。

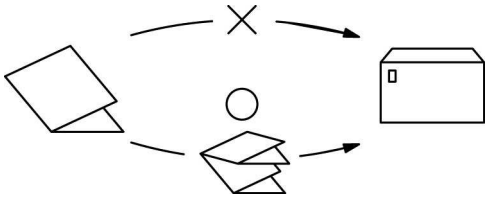


⑦ **「テスト」**キーを押して試し折りをします。

折ずれを修正する場合
→**「5．6　調整」**(25～28 ページ)参照

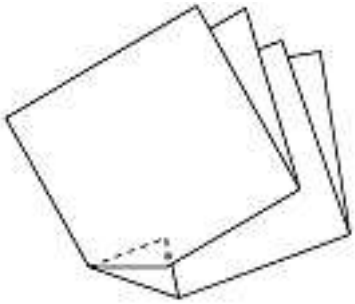
⑧ **「スタート／ストップ」**キーを押して連続折りを
開始します。

5-4 ： クロス折り



・クロス折りとは、2つ折りした用紙をさらに4つ折りや内3つ折りなどにすることをいいます。

・A3の用紙を4つ折りしただけでは封筒に入らない場合などにクロス折りをします。

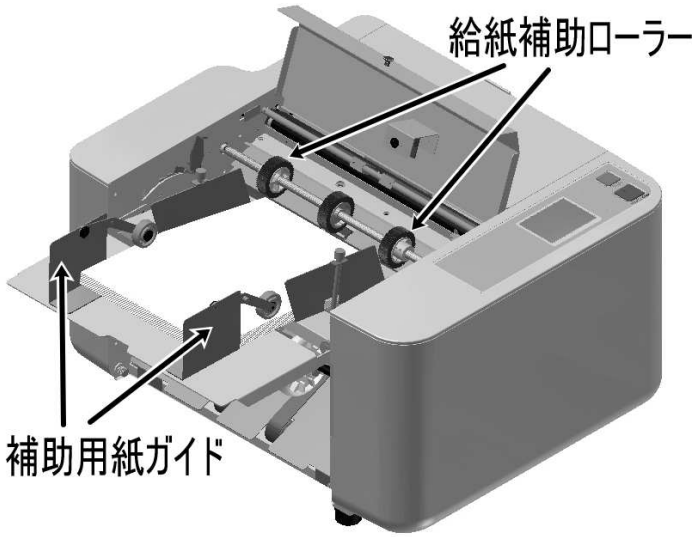


※クロス折りに使用できる用紙は諸条件によって変動します。
・用紙種類・用紙サイズ・縦目・横目・温度・湿度・印刷状態

通常の折りより横ズレが大きくなったり、折った角が内側に折れる現象が起こる場合がありますが機械の故障ではありません。

注意！

2つ折りした折り目を手でよくしごきます。
用紙は少な目に積みます。（30枚以下）
補助用紙ガイドは、用紙ガイドにあたらないように目盛のシールより手前に置きます。



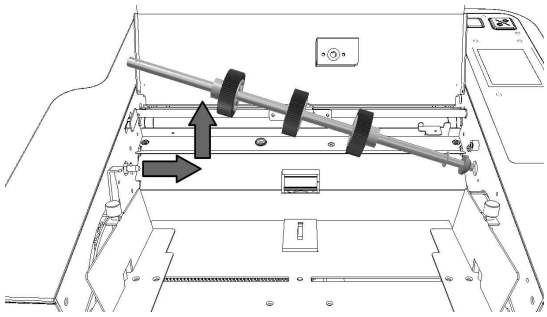
① 2つ折りにした用紙を給紙テーブルにのせ、用紙ガイドを密着させて固定します。
② 左右の給紙補助ローラーのネジをゆるめて、用紙の両端をおさえる位置にセットします。
③ 補助用紙ガイドを、先端のベアリングが用紙のふくらみをおさえる位置に置きます。

注意！

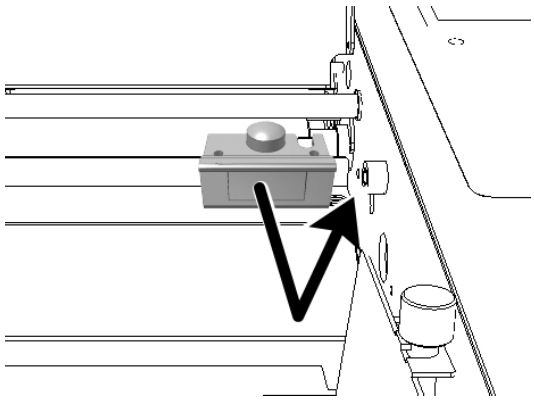
給紙補助ローラーのホルダは樹脂製のため、ネジの締め過ぎによるホルダの破損に注意してください。

5-5 : アート紙 / コート紙を折る方法

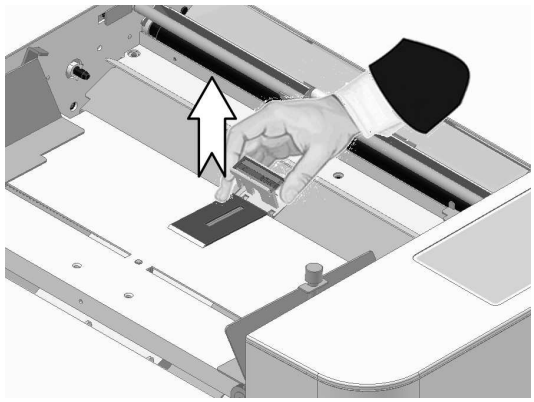
5-5-1 : コート紙用セパレーターへの交換



① 給紙ローラー軸をはずします。



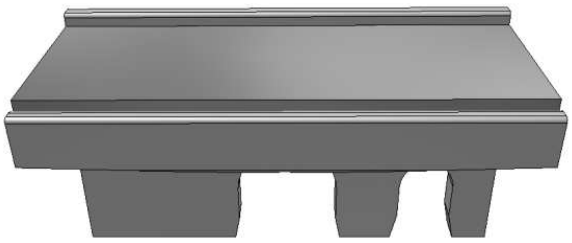
② 白いツマミをゆるめて「コート紙用セパレーター」を取り外します。



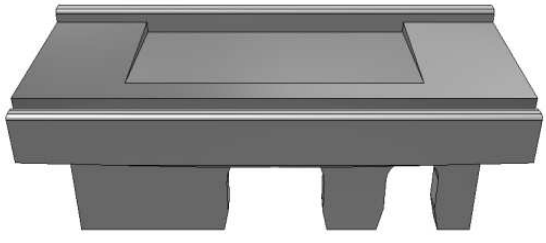
③ 標準で装着されているセパレーターを抜き、「コート紙用セパレーター」と交換します。

コート紙用セパレーターは、ゴムの中央が削られていますので、標準のセパレーターと識別できます。

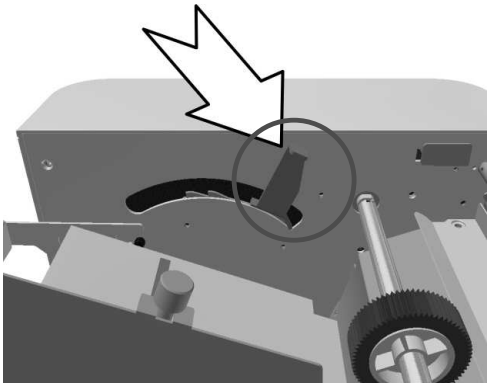
標準のセパレーター



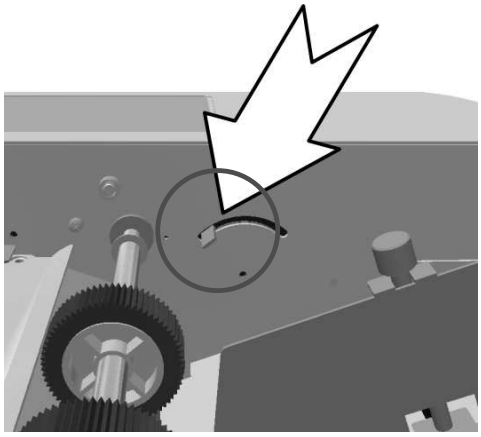
コート紙用セパレーター



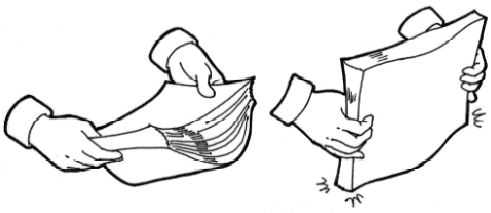
5-5-2 ： 圧力調整



① 給紙圧調整レバーを「0」に設定します。



② セパレーター圧調整レバーを「2」に設定します。



用紙をよくさばいてから積みます。

紙と紙の間に空気を入れるようにして、よくさばきます

注意！

「アート／コート」の印刷物は用紙の密着度が非常に強い場合があります。その場合上記②および③の設定だけでは給紙ミスが発生しやすくなるため、用紙を給紙テーブルにセットする前には必ずさばいてください。

ポイント！

上下左右各数回ずつさばくと紙送りが良くなります。
用紙積載量が多いと給紙不良発生率が高くなります。
アート紙／コート紙は静電気が発生しやすい用紙です。静電気による給紙不良が頻繁に発生し始めましたら、折りカセット1・折りカセット2を外し、先端の用紙進入口付近に静電気除去スプレーを吹き付けて静電気を取除きながら給紙させてください。静電気除去はできる限りこまめに吹き付けながら給紙することをお勧めします。

［ 複数枚給紙が多発する場合 ］

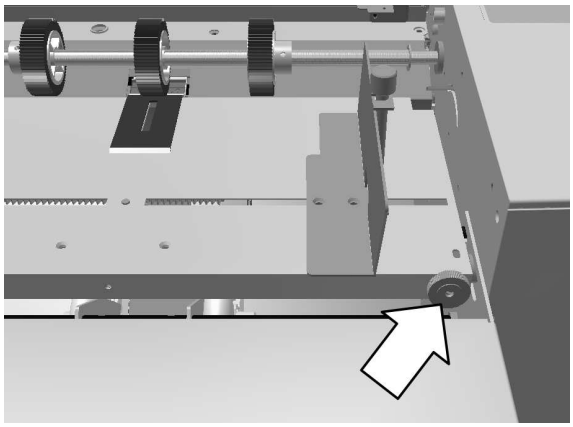
・24 ページの絵を参考に、再度用紙をよくさばいてください。
・給紙テーブルにセットする用紙の積載量を1㎝以下にしてください。
・セパレーター圧調整レバーを「2」→「3」に変えてください。
・セパレーター圧調整レバーの数字が大きくなると用紙をさばく力が強くなります。
・処理速度を1つ下げてください。

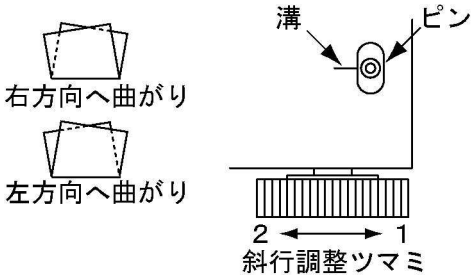
［ 給紙スリップが多発する場合 ］

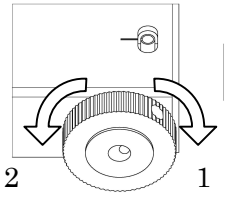
・給紙圧調整レバーを「0」→「1」に変えてください。
・給紙圧調整レバーの数字が大きくなると用紙を送る力が強くなります。
・処理速度を1つ上げてください。

5-6 ： 調整

5-6-1 ： 斜行調整







用紙裁断時の曲がり等が原因で折りが曲がる場合は、斜行調整ツマミで曲がりを修整します。

排紙された状態のまま見て、用紙の下面が右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを右方向1へ、左へ曲がった場合は左方向2へまわしてください。
（基本位置はピンが溝のある中央にあります）

注意！

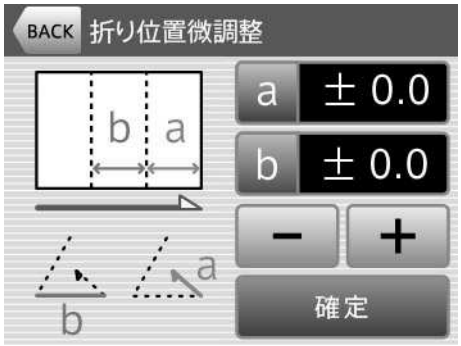
用紙ガイドと用紙の間に隙間がないか確認してください。
2つ折り以外の場合はカセット1で折られた面を下にして斜行調整してください。
用紙を再セットした時は、斜行調整をし直してください。
作業後は斜行調整ツマミを基本位置に戻してください。

5-6-2 ： 折り位置の微調整

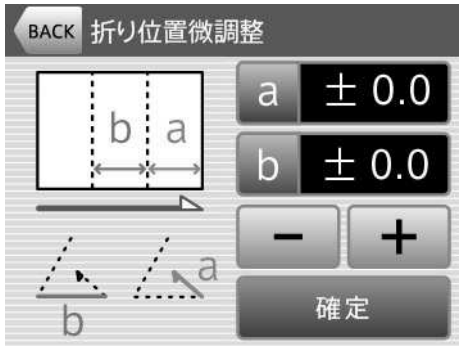
定形折り、変形折り設定後、折りテストで折りズレがある場合は、下記手順で折り位置の微調整を行います。

① カウンター画面より**「調整」**キーを押します。

② 調整画面に入り **「折り位置微調整」**キーを押します。

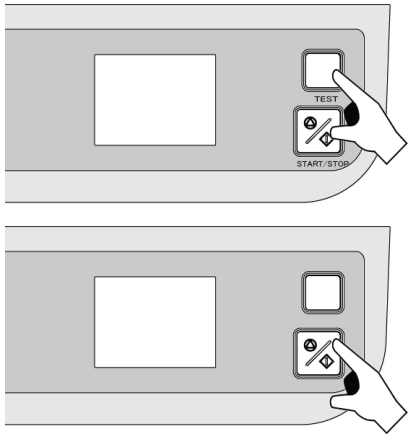


③ **「a±0.0」**キーを押して、**「－」「＋」**キーで**a**の寸法を微調整後、「確定」キーを押します。



④ **「b±0.0」**キーを押して、**「－」「＋」**キーで**b**の寸法を微調整後、「確定」キーを押します。

※2つ折りは b寸法のみ入力



⑤ **「テスト」**キーを押して試し折りをします。

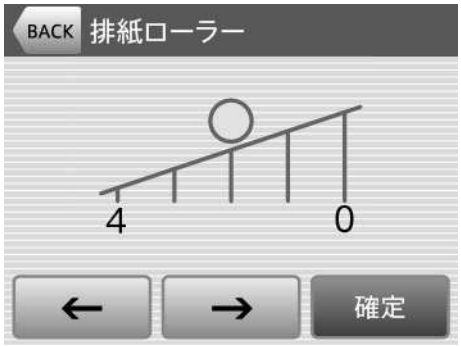
再調整が必要な場合は、（1）～（4）の手順を再度行います。

⑥ **「スタート／ストップ」**キーを押して連続折りを開始します。

5-6-3 ： 排紙ローラ位置の調整

① カウンター画面より**「調整」**キーを押します。

② 調整画面に入り **「排紙ローラー」**キーを押します。



③ 排紙ローラー位置を**「←」「→」**キーで選択（5段階）して **「確定」**キーを押します。

ポイント！

規格用紙の定形折りは、折り位置、折り形、速度によって自動的に最適な位置に設定されます。
規格外用紙、変形折りの場合は、排紙ローラーの位置を調整して下さい。

［ 目安 ］

・仕上がり寸法 大 ..... 排紙ローラー ⇒ 4の方向へ
・仕上がり寸法 小 ..... 排紙ローラー ⇒ 0の方向へ
・処理速度 高速 ..... 排紙ローラー ⇒ 4の方向へ
・処理速度 低速 ..... 排紙ローラー ⇒ 0の方向へ

5-7 ： 規格用紙の折り位置の登録/消去

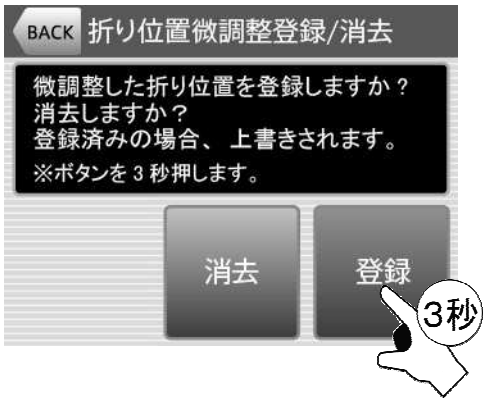
規格用紙の定形折りで折り位置の微調整をした場合、微調整後の折り位置を登録できます。

5-7-1 ： 微調整位置の登録

希望の折ができるようあらかじめ準備しておきます。

① カウンター画面より**「登録／消去」**キーを押します。

② **「折り位置微調整　登録/消去」**キーを押します。

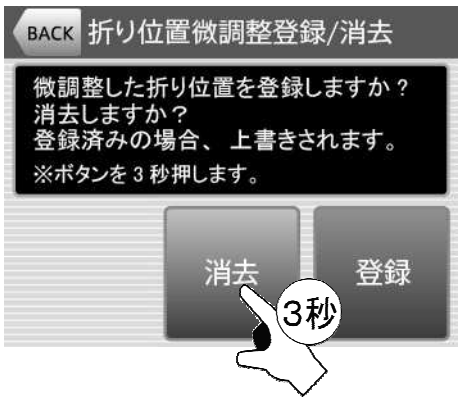


③ **「登録」**ボタンを3秒間押すと微調整値が記憶されます。

5-7-2 ： 微調整登録の個別消去

① カウンター画面より**「登録／消去」**キーを押します。

② **「折り位置微調整　登録/消去」**キーを押します。



③ **「消去」**キーを3秒間押すと微調整値が消去されます。

5-7-3 ： 微調整登録の全消去

① **「TOP」**キーを押して、TOP画面に移動します。

② **「歯車」**キーを押して、設定画面に移動します。

③ **「登録全消去」**を選択します。

④ **「折り位置微調整登録の全消去」**を3秒押しすると、
全ての折りの微調整値がクリアされます。

5-8 ： 変形折り・規格外用紙の折り位置の登録/消去

5-8-1 ：折り位置登録

希望の折りができるようあらかじめ準備しておきます。

① カウンター画面より**「登録/消去」**キーを押します。

② **「折り登録」**キーを押します。

③ 登録したいメモリNo.を押すと、現在の設定値がユーザメモリに記憶されます。

「▲▼」キーで登録した折り形を選択します。

※登録できるメモリ数は20個までです。

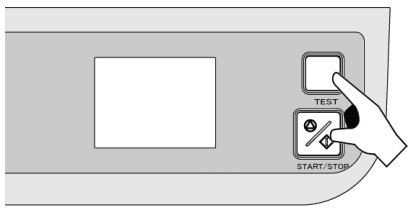
5-8-2 ： 折り登録の呼び出し

①TOP画面から**「登録折り」**キーを押します。

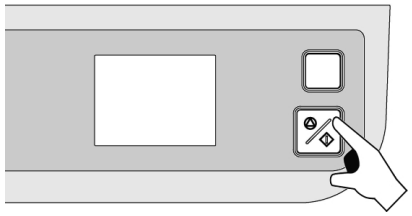
②「▲▼」キーで登録した折り形を選択します。

サイズ、折り形、速度が同じ場合には、登録番号で識別して下さい。

③ カウンター画面に移動します
用紙サイズ、折形、速度、登録番号をご確認ください。



④ **「テスト」**キーを押して試し折りをします。



⑤ **「スタート／ストップ」**キーを押して連続折りを開始します。

5-8-3 ： 折り登録の全消去

① **「TOP」**キーを押して、TOP画面に移動します。

② **「歯車」**キーを押して、設定画面に移動します。

③ **「登録全消去」**を選択します。

④ **「折り登録の全消去」**を3秒押しすると、全ての折りの微調整値がクリアされます。

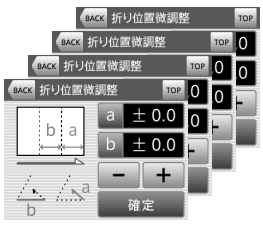
5-8-4 ：登録の全消去（微調整登録、折り登録のすべての登録を消去します。）

① **「歯車」**キーを押して、設定画面に移動します。

② **「登録全消去」**を選択します。

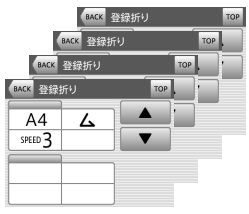
③ **「登録全消去」**を3秒押しすると、全ての折りの微調整値がクリアされます。

定形用紙微調整登録データ



・１つずつ消去 ····· 5-7-2 参照
・まとめて全消去 ····· 5-7-3 参照

定形外用紙折り登録データ



・１つずつ消去 ····· 出来ません。
・上書きを行なう ····· 5-8-1 参照
・まとめて全消去 ····· 5-8-3 参照

ポイント！

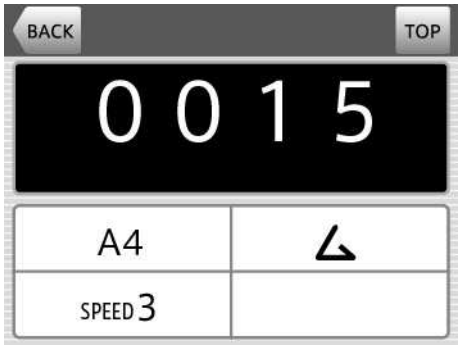
本体内すべての登録データを一括削除…5-8-4 参照

5-9 ： カウンターの設定

5-9-1 ： 加算モード

① カウンター画面で**「枚数設定」**キーを押します。

② **「クリア」**キーを押して カウンターをクリアし、「確定」キーを押します。

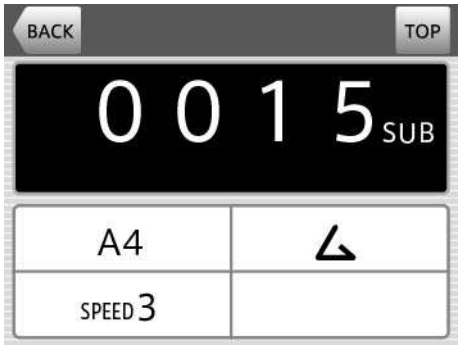


③ 加算モード時は、カウンター表示部に カウントのみ表示されます。

5-9-2 ： 減算モード

① カウンター画面で**「枚数設定」**キーを押します。

② テンキーを使って折りたい枚数をカウンターに入力し、**「確定」**キーを押します。



③ 減算モード時は、カウンター表示部に カウントと「SUB」が表示されます。

5-9-3 ： インターバルモード

① カウンター画面で**「枚数設定」**キーを押します。

② カウンター入力画面で**「インターバル」**キーを押すと、
インターバルの設定画面に移行します。

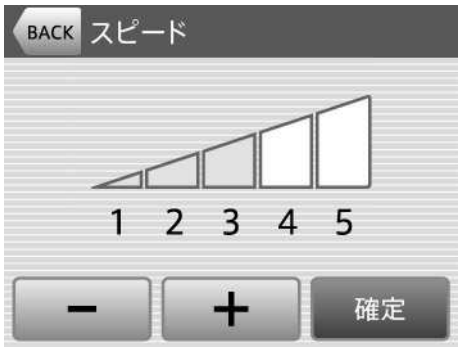
③ **「枚」、「秒」、「セット」**キーを押して それぞれの
値を入力します。

・全ての入力が完了したら**「確定」**キーを押してカウンター画面に戻ります。
・**「解除」**キーを押すとインターバルモードから抜けます。

④ インターバルモード中は、カウンター表示部に「枚数」と
「セット数」の2つの値が表示されます。

5-10 ： 速度調整

① カウンター画面で、**「スピード」**キーを押します。



② **「−」「+」**キーでスピードを設定し **「確定」**キーを押します。
（画面上の黄色部分が速度を表します）

5-11 ： 重送検知機能

5-11-1 :: 重送検知機能とは

2枚以上重ねて給紙された時、それを検知し用紙を折らずに折りカセット1の後端部から排紙されます。
※用紙の厚み、印刷の違いも検知して機械が停止します。(E-52)
※重送検知ONの時は、テスト折りより40㎜以上(A4時)長い紙はエラーとして検知されます。

5-11-2 ： 重送検知機能のON/OFF

①**「歯車」**キーを押して、設定画面に移動します。

②重送検知のON
重送検知ボタンをONにして下さい
※用紙が2枚以上給紙された場合、または印刷の違うものが給紙された場合機械が停止します。(E-52)

③重送検知のOFF
重送検知ボタンをOFFにして下さい
※クロス折りを行う場合。
※バラバラな印刷物を折る場合、またはバラバラな厚みの用紙を折る場合はOFFに設定して下さい。

5-11-3 ： 重送検知機能の使用

①重送検知機能がONであることをご確認下さい。

②クロス折り以外のいずれの折り作業にも対応しております。

③折り作業前に必ずテスト折りを行って下さい。

※テスト折りした時の用紙の厚み、印刷、長さを記憶し重送を検知します。

④通常の折り作業を行って下さい。

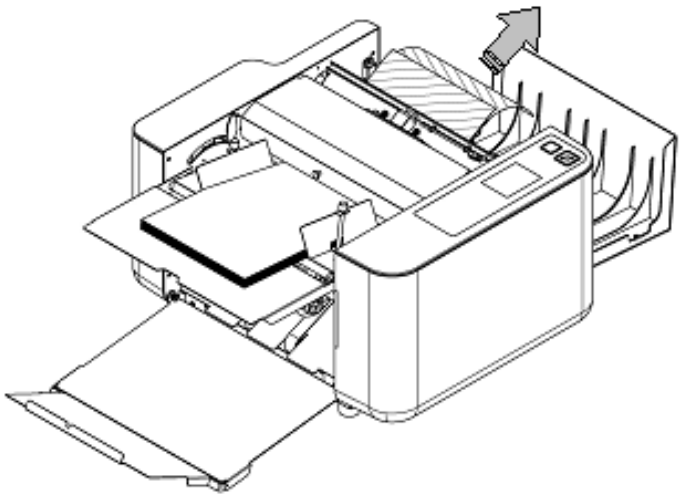
5-11-4 ： 重送検知エラー(E-52)で停止した場合

①カバーを開け重なって送られた用紙をすべて取り除いて下さい。

※自動的に排紙されません。

②後カバーを閉めてエラー解除ボタンを押しエラー(E-52)を解除してください。

折り作業を再開してください。



6 保守・点検・消耗品

6-1 ： 点検・お手入れ時の注意事項

	警 告
⊘	点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。 けが・感電の恐れがあります。

6-2 ： 日常のお手入れ

機械本体

・折りローラー、ブレーキゴムに紙粉やホコリがたまると紙折りに支障をきたす場合があるので、使用しない時は機械カバーをかけてください。

・外装部の汚れはアルコール又は清掃用クリーナーを使用してください。
溶剤系の洗浄液は変色の原因になるので使用しないでください。

折りローラー

・折りローラーに 紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので定期的にゴムローラー専用クリーナーと布を用いて清掃してください。

・折りローラーは1本ずつ、ゴムローラー専用クリーナーを浸した布で力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。

ブレーキゴム

・ブレーキゴムに 紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので定期的にゴムローラー専用クリーナーと布を用いて清掃してください。

・ブレーキゴムは、ゴムローラー専用クリーナーを浸した布で力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。

給紙ゴムローラー

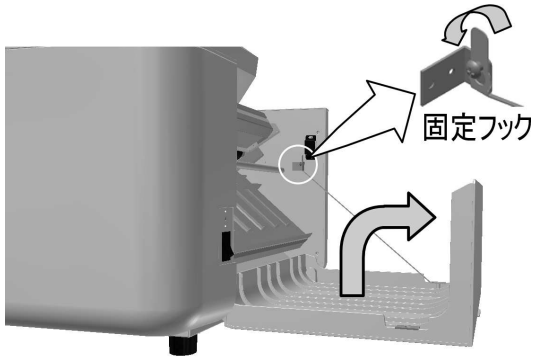
・給紙ゴムローラーや用紙セパレーターに 紙粉及び印刷物のインク等が付着すると給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップの原因になるのでゴムローラー専用クリーナーを用いて清掃をしてください。

*ゴムローラー専用クリーナーLG-CL500 ： 注文コード 846-24

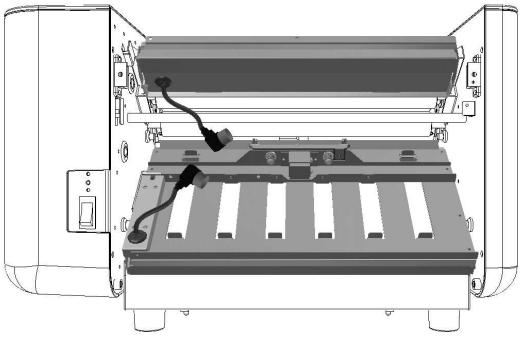
6-3 ： 消耗品について

製品に使用されている給紙ゴムローラー、ブレーキゴム、用紙セパレーター、折りブレーキは消耗品です。
交換が必要な場合は、お買い求め販売店までご連絡ください。

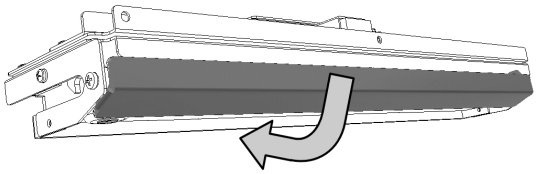
6-4： 折りカセットの脱着方法



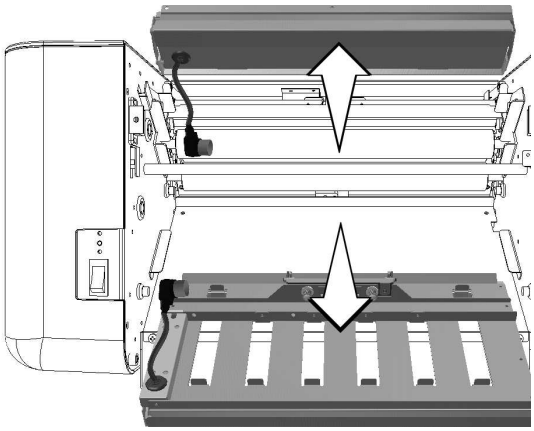
① 電源スイッチをOFFにし、固定フックを外して、後カバーを外します。



② 黒いプラグを2本とも抜きます。

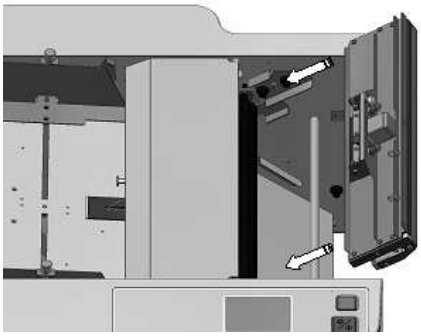


③ 折りカセット後端部分がロック解除レバーになっております。

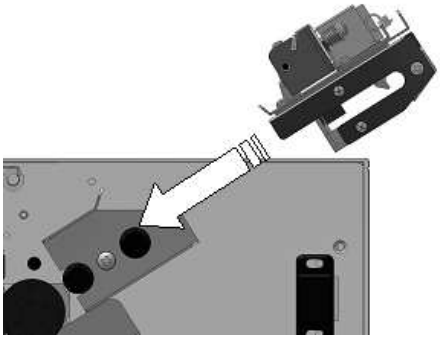


④ レバーを押しながら折りカセットを引き抜いて下さい。

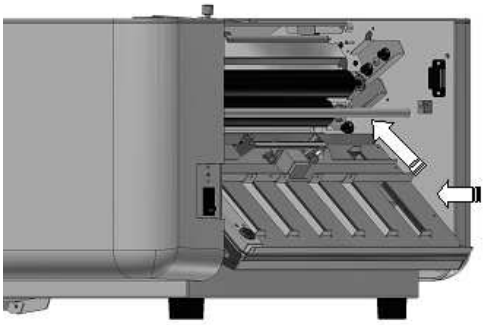
［ 折りカセット1のセット方法 ］



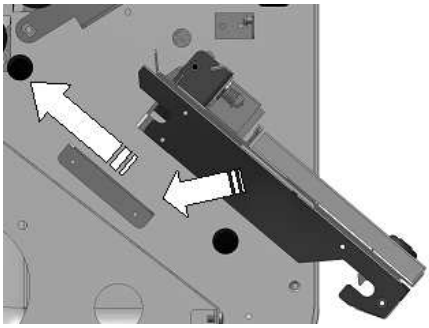
折りカセット1をガイドに合わせて矢印の方向に
差し込んでください

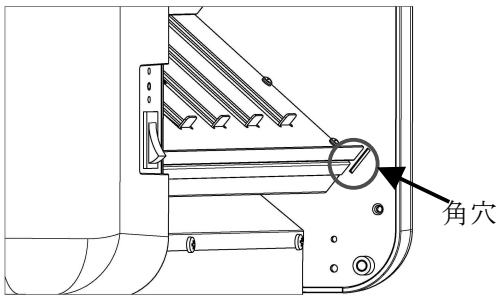


［ 折りカセット2のセット方法 ］



折りカセット2をガイドに合わせて矢印の方向に
差し込んでください
しっかりと筐体内側面の角穴の見えるまで押し
込んで下さい。

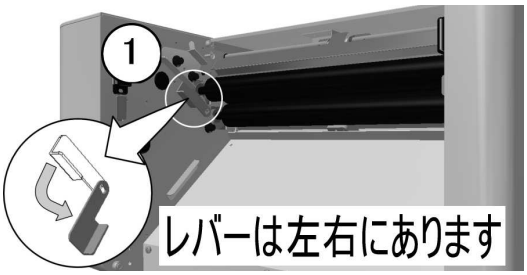




	注 意
	折りカセット1・2が正しくセットされているか確認してください。 折りカセットが外れると ケガの原因になります。

6-5 ： 折りローラーの脱着と清掃

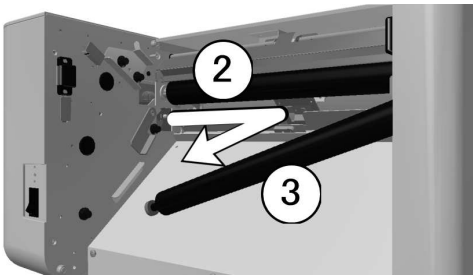
工具を使用しないで2本の折りローラーを脱着することができます。
脱着する事で、ローラーや排紙フォトセンサーの清掃が簡単になります。
残りの2本のローラーは脱着できないので、少しずつまわしながら清掃します。



［ 折りローラーの外し方 ］

後カバーと折りカセット1・2を外します （前ページ参照）

① ローラー脱着レバーをOFF側に下げます。
ローラー脱着レバーは左右にあります。

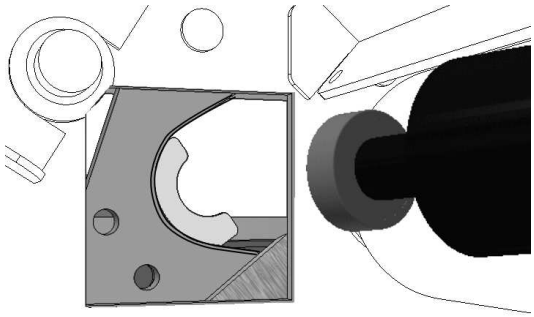


② 上側の折りローラーを右にずらします。
（左穴から軸が外れます）

③ 右穴からローラーを外します。

同じ手順で、下側の折りローラーを外します。

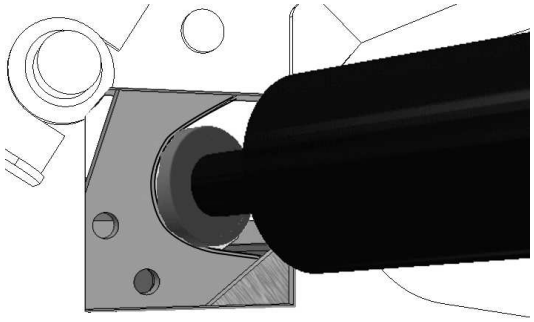
4本の折りローラーを清掃します。
清掃後は外した時と逆の手順で下側の折りローラーからつけていきます。



［ 折りローラーのつけ方 ］

① ローラーを右奥まで差し込みます。

② ローラーを左にスライドさせます。



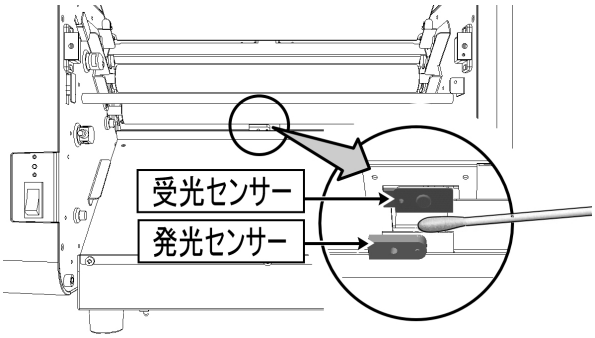
③ ローラー脱着レバーをONに上げます。

注意！

確実に折りローラーがセットされないと故障の原因になります。
セットできない場合は裏表紙に掲載されている連絡先までお問合せください。

6-6 ： 給紙・重送検知・排紙フォトセンサーの清掃

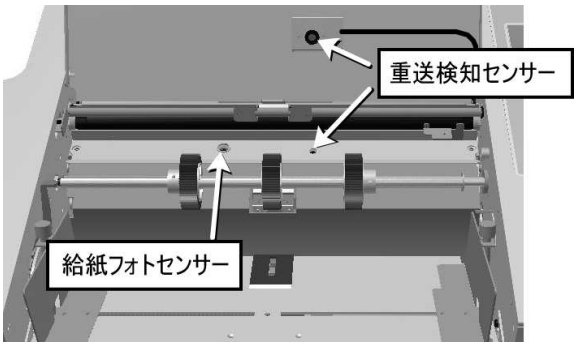
[排紙フォトセンサーの清掃]



折りローラーを外してください（45ページ参照）

用紙を1枚しか給紙しない場合は、排紙フォトセンサーに付着した紙粉を、やわらかい綿棒で取り除いてください。

[給紙・重送検知フォトセンサーの清掃]



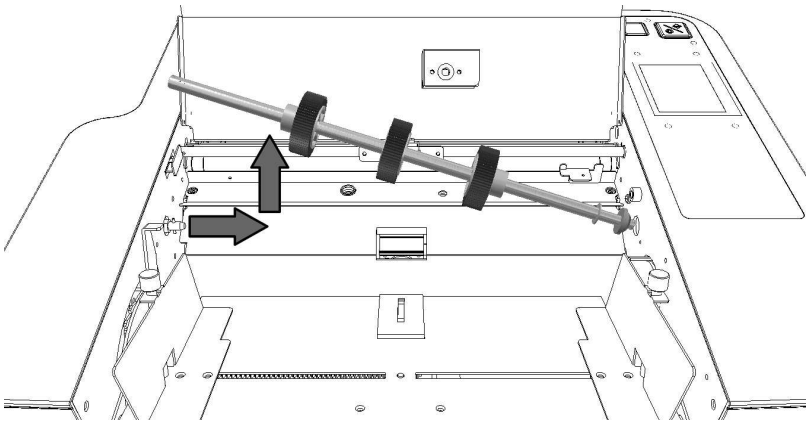
安全カバーを開き、給紙フォトセンサーの表面（黒い樹脂面）と、重送検知フォトセンサーの表面を、やわらかい綿棒で清掃して下さい。
（又は、エアーダスターを吹き付けてください）

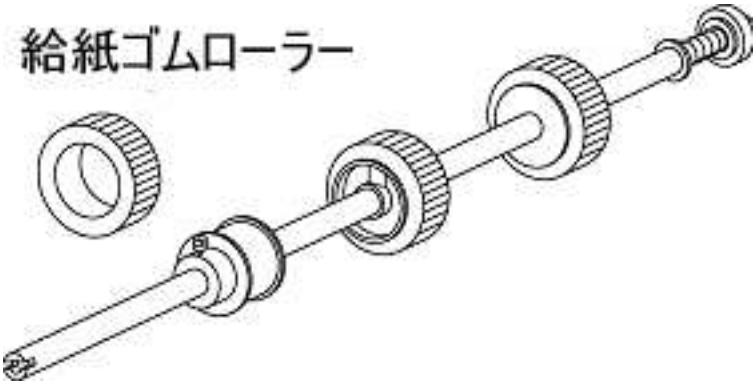
注意！

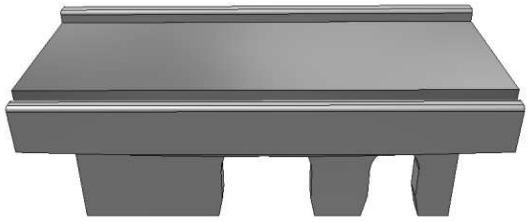
綿棒で清掃する際に、糸くずを残さないようにしてください。
清掃が不十分だと、給紙しない あるいは 1枚だけ給紙してから給紙エラーになる場合があります。
清掃後は、センサーが十分に乾いてから電源を入れてください。

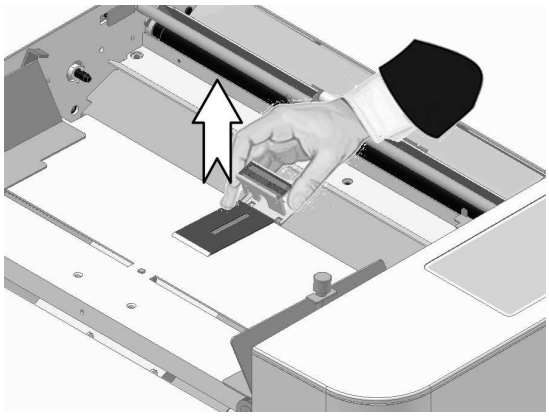
6-7 ： 用紙セパレーターと給紙ゴムローラーの脱着

給紙ゴムローラーと用紙セパレーターを交換する際は、下記の要領で取外しを行ってください。







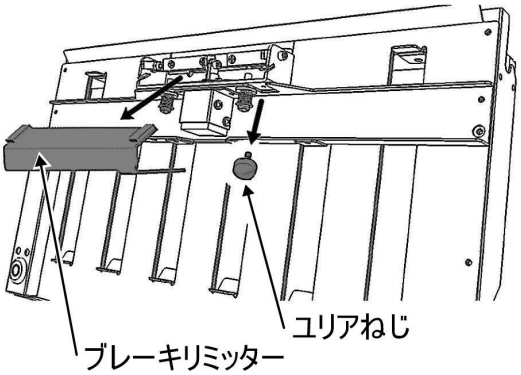


用紙セパレーター（樹脂付）の両端を持ち、引き抜きます。
取り付けは逆の要領で行います。

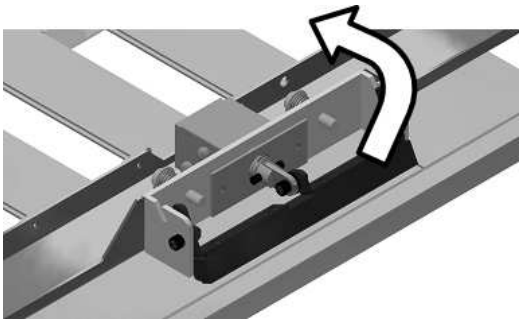
上記部品はご購入の販売店へご発注ください。

6-8 ： 折りブレーキの清掃／交換

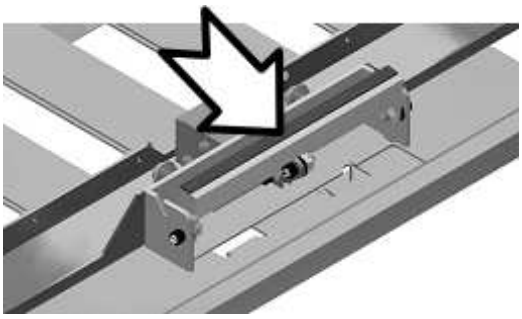
[ブレーキゴムの清掃]



① ユリアねじを回して外しブレーキリミッターを取り外して下さい。

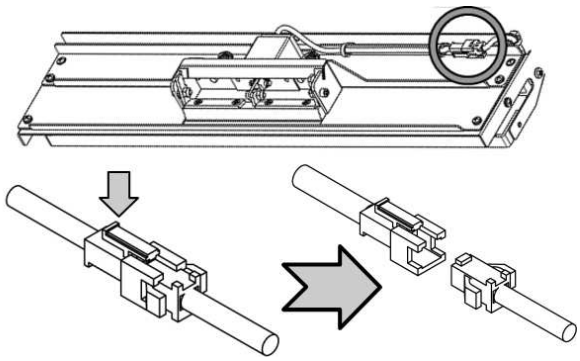


② ブレーキリミッターを取り外すとブレーキゴムユニットが回転できます。

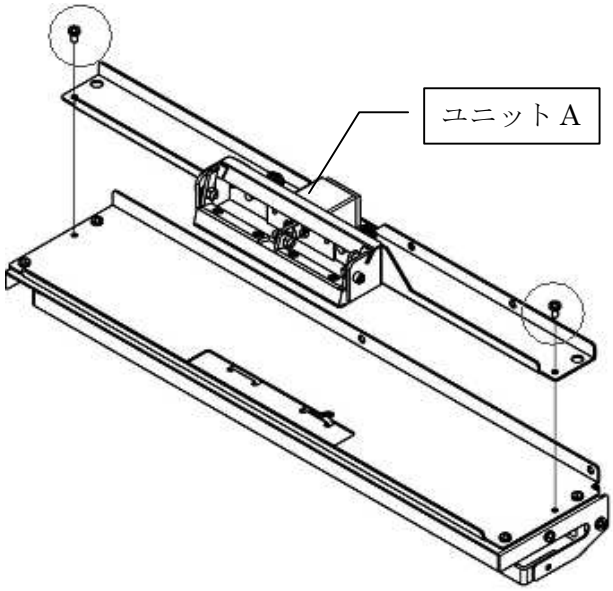


③ ブレーキゴムは専用クリーナーを浸した布で清掃して下さい。(6-2日常のお手入れ 参照)

[ブレーキユニットの交換 － 折りカセット1]

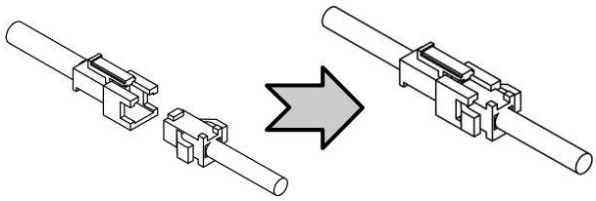


① コネクターを抜いて下さい。
コネクターの爪を押しながら左右に引き抜いて下さい。



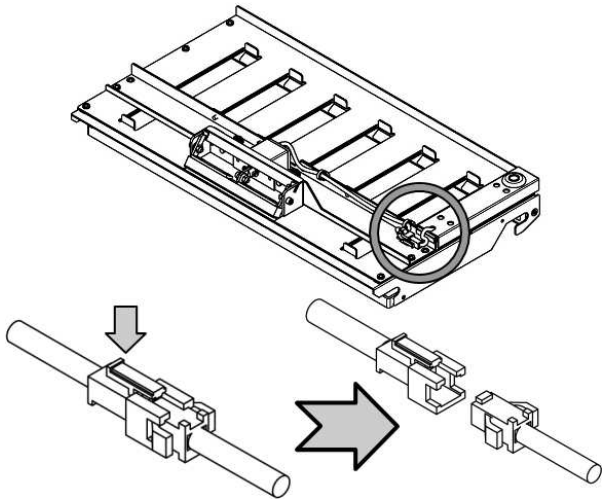
② ユニットAを取り外して下さい
プラスドライバーでネジを2つ外すとユニットが外れます。
注意 ： 別のネジを外さないようご注意下さい

③ 新しいユニットAを取り付けて下さい
②で外したユニットAの位置に新しいユニットをネジで固定して下さい。
注意 ： しっかりとネジを締め緩みの無いことをご確認下さい

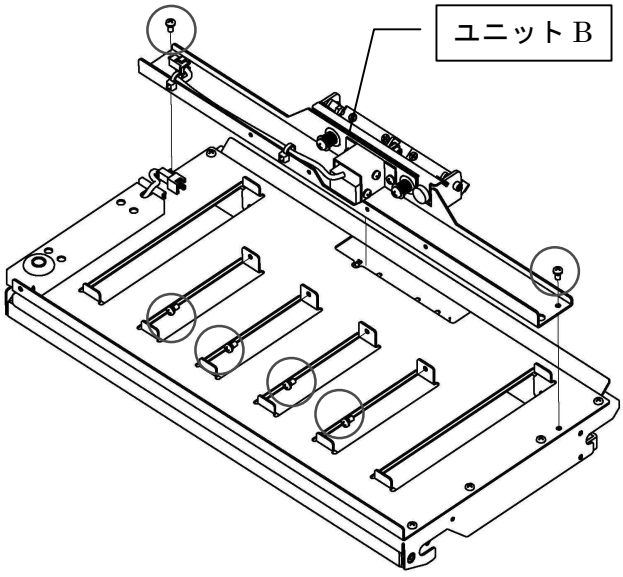


④ コネクターを差して下さい。
①で外したコネクターを差し込んで下さい。
爪を押さずに軽く引き、コネクターが抜けない事をご確認下さい。
コネクターには方向性がございます。
爪の位置に注意して差し込んで下さい。

[ブレーキユニットの交換 - 折りカセット2]

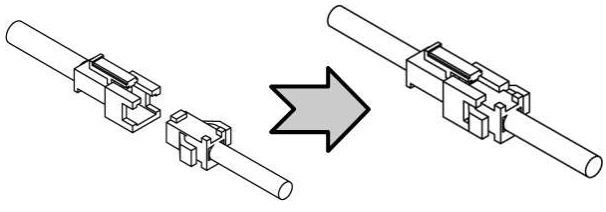


① コネクターを抜いて下さい。
コネクターの爪を押しながら左右に引き抜いて下さい。



② ユニットBを取り外して下さい
プラスドライバーでネジを6つ外すとユニットが外れます。
注意 ： 別のネジを外さないようご注意下さい

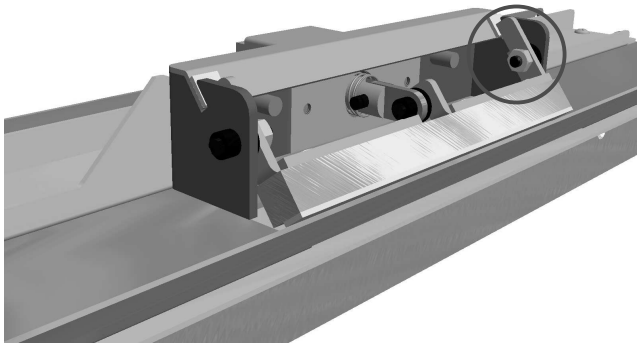
③ 新しいユニットBを取り付けて下さい
②で外したユニットBの位置に新しいユニットをネジで固定して下さい。
注意 ： しっかりとネジを締め緩みの無いことをご確認下さい



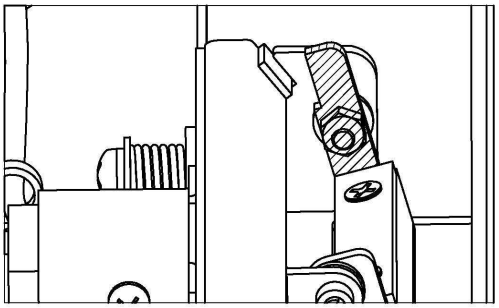
④ コネクターを差して下さい。
①で外したコネクターを差し込んで下さい。
爪を押さずに軽く引き、コネクターが抜けない事をご確認下さい。
コネクターには方向性がありますので、爪の位置に注意して差し込んで下さい。

6-9 ： 折りブレーキのロック解除

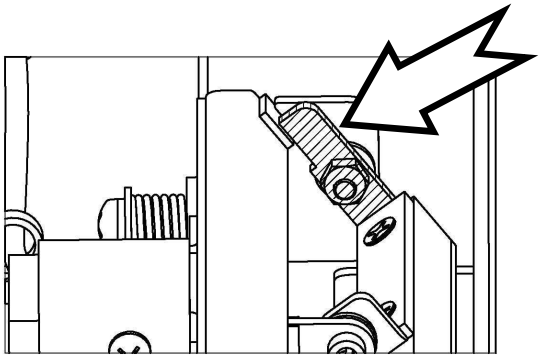
用紙の先端が2cm程しか折れない場合、折りブレーキがロックしている可能性があります。
下記をご参照いただき、折りブレーキを上側に持ち上げ、ロックを解除して下さい。



折りブレーキがロックしている状態



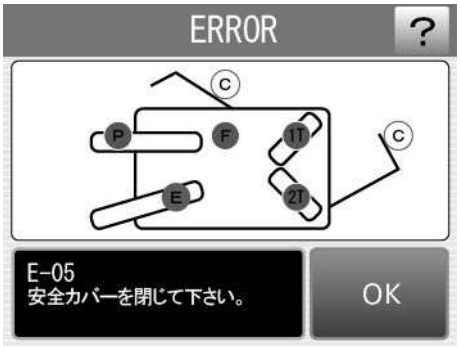
レバーを解除方向に押してください



7 トラブル時の処置

7-1：エラー表示

7-1-1 ： エラー画面



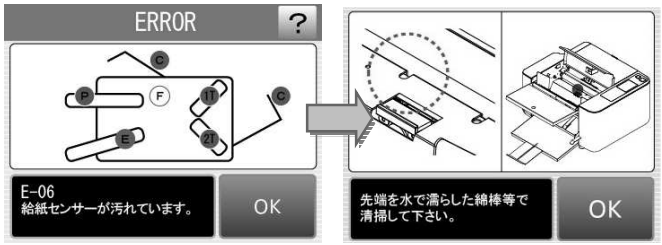
エラー発生時は、ジャムマップにエラーランプとエラーコード（エラー内容）を表示します。

・エラー原因を取り除き「OK」キーを押すと、エラー表示を解除します。

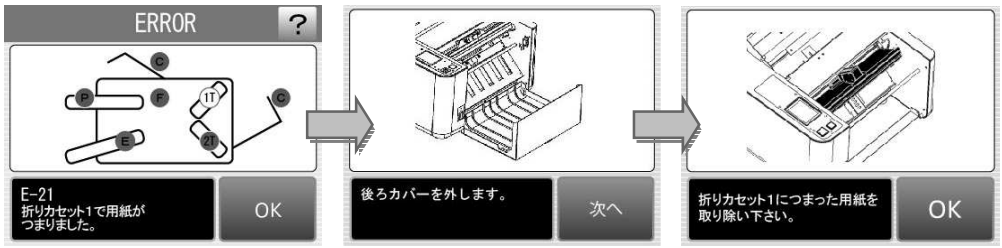
・「？」キーを押すと 主要なエラーの説明画面に移動します。

[代表的なエラーの対処画面]

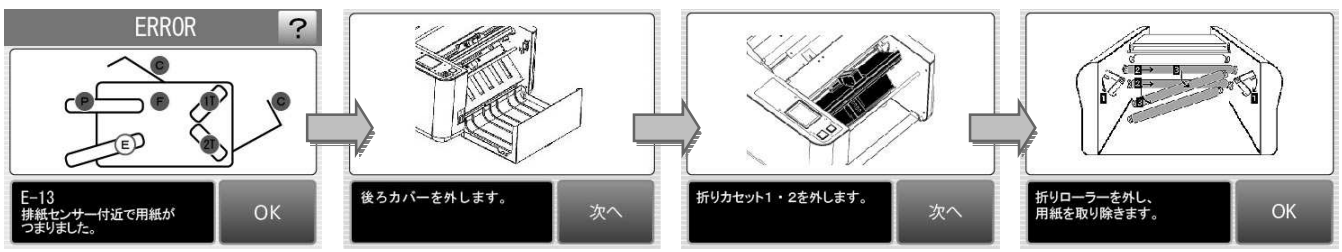
E-06



E-21



E-13



7-1-2 : エラーコード一覧

エラーコード	エラーの内容	エラーの対処.
E-04	用紙が送られませんでした	給紙スリップです。用紙をセットし直し、再スタートして下さい
E-05	安全カバー（上カバー、後カバー）が開いています	開いている安全カバーを閉じて下さい
E-06	給紙センサーが汚れています	給紙センサーを清掃して下さい（P46、6-6参照）
E-07	給紙部分で用紙が詰まりました	用紙を取り除き、再スタートして下さい
E-13	機械内部で用紙が詰まりました	詰まった用紙を取り除いて下さい
E-14	排紙センサーが汚れています	排紙センサーを清掃して下さい（P46、6-6参照）
E-15	排紙センサーまで用紙が届きませんでした。	後カバーを外して、用紙を取り除いて下さい。
E-21	折りカセット1で用紙が詰まりました	詰まった用紙を取り除いて下さい
E-22	折りカセット2で用紙が詰まりました	詰まった用紙を取り除いて下さい
E-23	カセット1に用紙が届きませんでした	カセット1をセットし直してください
E-24	カセット2に用紙が届きませんでした	カセット2をセットし直してください
E-51	ずれ送り発生	排紙された用紙を確認して下さい。また積まれている用紙を良くサバキ、再スタートして下さい
E-52	用紙が2枚以上送られました	用紙が重送しました。後カバーをあけて用紙を取り除いてください。また積まれている用紙を良くサバキ、再スタートして下さい
E-53	チェックデータ無し	重送検知がONになっています テストボタンから折りを開始してください
E-54	入力した折り位置が仕様の最低寸法以下です。	用紙サイズ、折り形を確認して下さい。
E-90	EEPROM チェックサム・エラー	電源を再投入して下さい 解消しない場合はお問合せ下さい
E-91	タッチパネル通信エラー	電源を再投入して下さい 解消しない場合はお問合せ下さい

7-2 : トラブル内容と処置

現 象	原 因	処 置	参照
折りずれが生じる	微調整がされていない	微調整ツマミで折りずれ修整	5.6 調整
	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6. 保守・点検・消耗品
	用紙ガイドのセットが曲がっていて固定されている または、用紙に密着していない	用紙ガイドを用紙に密着させる	
	給紙テーブルが曲がっている	斜行調整ツマミで給紙テーブルをまっすぐにする	5.6.1 斜行調整
	用紙の裁断が曲がっている	斜行調整ツマミで調整する	
	更紙など薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換、または(可能であれば)裏返す	
紙詰まりが多発する	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6. 保守・点検・消耗品
	折りローラーが正しくセットされていない	折りローラーを正しくセットする	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	厚口の用紙で速度を遅くして使用している	速度を速くする	5.10 速度調整
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットする	6.4 折りカセットの脱着方法
	用紙通過部に紙片が詰まっている	各部を点検し 紙片を取り除く	
	給紙ローラーが汚れている	給紙ローラー清掃	6. 保守・点検・消耗品
	静電気の異常発生	市販の静電気除去スプレーを吹きかける	
スタートキーを押しても給紙しない	給紙テーブル上に用紙がない または少ない	給紙テーブル上に用紙をのせる	
	安全カバーが開いている	安全カバーを閉じる	
	排紙フォトセンサーが汚れている	排紙フォトセンサー清掃	6.6 フォトセンサーの清掃
シワが生じる	折りローラーに紙片が巻きついている	カセット1・2を外して折りローラーの紙片を取り除く	6.5 折りローラーの脱着・清掃
	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6. 保守・点検・消耗品
	横目の用紙及びコシの弱い用紙を使用している	処理速度を遅くする	5.10 速度調整
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換、または(可能であれば)裏返す	

現 象	原 因	処 置	参照
電源スイッチをONしても電源が入らない	電源コードのプラグが外れている	電源コードのプラグを確実に差し込む	4 使用前の準備
	ブレーカーが働いている	紙詰まり等の原因を取り除いてからブレーカーボタンを押す	2.1 外観
2cm位の幅で紙が折れる	折りカセット1・2内のブレーキのロック	ブレーキゴムを持ち上げてロックを解除する	6.9 折りブレーキのロック解除
排紙ジャムが多発する	排紙ローラーの位置が用紙サイズに適した位置にセットされていない	排紙ローラーを最適な位置にセットする	5.6.3 排紙ローラー位置の調整
	排紙満杯	用紙を取り除く	
給紙スリップが多発する	給紙ローラーが摩耗している	給紙ローラー交換	
	給紙ローラーに紙粉やインクの汚れがある	給紙ローラー清掃	6. 保守・点検・消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6. 保守・点検・消耗品
重送が多発する	用紙セパレーターが摩耗している	用紙セパレーター交換	6. 保守・点検・消耗品
	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6. 保守・点検・消耗品
	印刷した用紙が 貼り付いている	用紙をよくさばいて再セット	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
紙の端が折れる	用紙のカールが大きすぎる	カールを矯正	
	微調整が正しくセットされていない	微調整を正しくセット	5.6.2 折り位置の微調整
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットする	4 使用前の準備

注意！

仕様範囲内の紙質であっても、一度折った紙や印刷機、コピー、プリンター等による熱によってカールしている状態・波を打っている状態などの紙では、うまく折れない場合があります

7-3 ： 故障の場合

修理が必要な故障の場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

８ 移設または廃棄するとき

8-1 ： 移設

8-1-1 ： 旧設置場所からの撤去作業

・電源スイッチを切る。

・電源プラグをコンセントから抜きとる。

・補助テーブルを下げる。

・排紙テーブルを持ち上げて、給紙テーブルに被せ、ピンに引っ掛ける。

8-1-2 ： 運搬

・取り外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。

・強い振動や衝撃を与えないようにする。

・保護手袋をし、２人で底面4隅をしっかり持って運搬する。

8-1-3 ： 移設先での設置

新設の場所と同様、すべての作業を行ってください(「４、使用前の準備」参照)。

8-2 ： 廃棄

廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

9 製品仕様

用紙寸法	B7（91×128mm）～A3（297×420mm） ※B7は2つ折りのみ可、B6は観音折り不可
用紙質量	40kg～135kg（46.5g／㎡～157g／㎡） 2折りのみ160kgまで（185g／㎡） （最大値はコート紙のみ適応）
紙質	上質紙・上質孔版紙・中質紙・更紙・アート/コート紙 上記の紙質であっても、一度折った紙や印刷機、コピー、プリンター等による熱によってカールしている状態・波を打っている状態などの紙では、うまく折れない場合があります
折形	2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・外3つ折り・観音折り・2回通しによるクロス折り （各折りの変形折りも可能）
折り方式	ブレーキ方式
折り寸法（最大）	折りカセット1：344mm（4つ折り・片袖折り・外3つ折り） 折りカセット2：229mm（2つ折り・内3つ折り・観音折り）
折り寸法（最少）	折りカセット1：45mm（内3つ折り・観音折り） 折りカセット2：45mm（2つ折り・4つ折り・片袖折り・外3つ折り）
給紙方式	3輪式サバキ方式
給紙積載量	500枚 上質紙55Kg（64g／㎡）の場合
処理速度	2400～14400枚／時（A4 2つ折り時） 最高速時は、エラー後に次の用紙を給紙して停止 その他、折り形の種類に制限あり
操作方式	カラー液晶タッチパネル・自動設定（マイコン内蔵による）
付加機能	・斜行調整・紙詰まり検知・4桁カウンタ（加算・減算モード・オートリピート付） ・用紙サイズの自動検出（A3，B4，A4，B5，A5，B6） ・重送検知 ・クロス折り用 補助用紙ガイド付 ・給紙テーブル自動昇降 ・排紙ローラー5段階位置自動切換え ・用紙長さ自動読取機能 ・用紙サイズ入力による折り位置自動設定 ・微調整の記憶36通り（6種類の用紙サイズ×6種類の折形） ・特殊折り登録20通り
消費電力	82．3W
使用電源	100V 50／60Hz
機械寸法	W812×D545×H336mm（使用時） W452×D545×H332mm（収納時）
機械質量	27kg

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

201402 Rev 050

取扱説明書

紙折機　LF-A600

修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくはお客様相談室へご連絡ください。

お客様相談室
〒１６４－０００３　東京都中野区東中野２丁目６番11号
ＴＥＬ　フリーダイヤル　０１２０－０７４４１６
ＦＡＸ　フリーダイヤル　０１２０－４０２５３９

株式会社 ライオン事務器

本　　社　〒164-0003　東京都中野区東中野２丁目６番11号　TEL03-3369-1111
東京本店　〒103-0004　東京都中央区東日本橋２丁目24番14号　TEL03-3865-1211
大阪本店　〒577-8560　大阪府東大阪市長田中３丁目５番44号　TEL06-6747-5681